



関中学校だより

第3号 令和8年6月15日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

学校行事の目標と「振り返り」の価値

校長 堤 智一

さわやかな新緑の季節を駆け抜けるように、5月23日(土)には運動会が、6月3日(水)～5日(金)には3年生の修学旅行が実施されました。いずれも教育課程の上では「特別活動」の中の「学校行事」にあたり、運動会は「健康安全・体育的行事」、修学旅行は「旅行・集団宿泊的行事」に位置付けられます。これらは、各教科や道徳科、総合的な学習の時間とも深く関連付けながら、生徒たちが「なすことによって学ぶ(体験を通して主体的に身に付ける)」大切な活動です。

学校行事の大きな目標は、全校や学年の仲間と協力する体験を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、これからの時代を生きる「資質・能力」を育成することです。この資質・能力には、次の3つの柱があります。

【知識及び技能】

集団における自分の役割を理解し、協力の仕方を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】

行事を成功させるための課題を見付け、話し合い、合意形成を図る

【学びに向かう力、人間性等】

自主的・実践的に取り組み、よりよい人間関係や社会を築こうとする

これらの資質・能力を確実に育むため、本校では実施時期や内容(運動会の種目や時間、修学旅行の行程など)について、教職員が一丸となって検討を重ね、関中学校にとっての「最適解」を見出しながら教育活動を展開しています。

学校行事を行う上で、私が校長として特に重視しているのが「振り返り」です。学校行事は当日が終わったら終わりではありません。行事を経て、次の段階にステップアップした日常の学校生活こそが本番です。活動を振り返り、まとめたり発表し合ったりすること。成果を分析して次の活動に生かすこと。これらは「事後学習」と呼ばれる、教科を横断した極めて重要な学習活動です。作文として自身の心の動きを「言語化」したり、ICTを活用してレポートにまとめて発表したりするプロセスが、生徒の学びを深めます。

私は運動会の閉会式と修学旅行の解散式で、「必ず振り返りを行い、行事で得たものを明日からの学校生活に生かしてほしい」と生徒たちに伝えました。その後、学年だより等で目にした生徒たちの作文には、自分や集団の成果と課題が言語化されており、今後の目標についても具体的に書かれていました。その姿を大変頼もしく感じています。

一つ一つの行事の成功の裏には、学校経営方針に対する教職員の深い理解ときめ細かな指導があります。そして何より、生徒一人一人の主体的に学ぼうとする姿勢と、保護者・地域の皆様の温かい御理解と御協力があります。これらすべてが学校の目指す「正のスパイラル」となって相互に作用しながら教育活動の充実につながっています。

日頃の御理解・御協力に心より感謝申し上げます。今後とも本校の教育活動への変わらぬ御支援をお願いいたします。

学校運営協議会 実証校としての取り組みについて

関中学校は、次年度（令和9年度）からの「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）」導入に向け、本年度は実証校として制度設計や諸条件の検証を進めております。本校は日頃より、PTA やつばさの会、同窓会など、多くの皆様に支えられております。本年度よりPTAが「名簿・会費なし」のコア型運営へと移行したことも、新たな一歩です。

本制度の導入を契機に、これまで学校を支えてくださった各団体や関係者の皆様が、学校の目標や課題をさらに深く共有し、それぞれの立場から学校運営をより多角的に支える体制づくりを推進します。地域の力を有機的につなぎ、学校・家庭・地域が一体となって子供たちの成長を支える「地域とともにある学校」の実現を目指します。皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

第52回 運動会【5/23(土)】

前日は雨に見舞われましたが、当日の朝、実行委員を中心に生徒たちが協力して準備を行い、運動会を予定どおり実施することができました。競技だけでなく、係の仕事でも主体的に活動する場面が多く見られました。



3年生 修学旅行【6/3(水)～5(金)】

3年生は修学旅行で北陸3県（富山、石川、福井）に行きました。加賀百万石の歴史や伝統文化に触れるとともに、仲間との集団生活を通して多くの学びを得る機会となりました。



おめでとうございます

【男子テニス部】

第3ブロックテニス大会 団体 第5位（都大会出場）

【女子テニス部】

第3ブロックテニス大会 団体 第3位（東京都大会出場）